

生徒数の推移

年	学級数	生徒数	教職員	年	学級数	生徒数	教職員
22	11	641	15	55	6	189	
23	17	881	21	56	6	211	
24	17	1077	33	57	6	214	
25	24	1187	30	58	6	201	18
26	24	1200	37	59	6	195	18
27	22	1316	35	60	6	184	16
28	24	1385	34	61	6	184	17
29	26	1425	38	62	7	212	19
30	28	1459	43	63	8	254	
31	30	1524	47	1	8	271	
32	28	1433	44	2	7	220	
33	27	1296	45	3	6	188	
34	29	1285	43	4	6	170	
35	32	1523	47	5	6	149	
36	37	1778	55	6	6	144	
37	23	1159	35	7	6	147	
38	22	1090	36	8	6	155	
39	20	949	34	9	6	157	
40	19	858	32	10	6	151	
41	18	786	28	11	6	142	
42	17	709	28	12	5	129	
43	14	606	25	13	4	120	
44	13	516	24	14	4	120	
45	11	452	22	15	5〔支援1〕	131	
46	11	423	22	16	5〔支援1〕	127	
47	10	394	22	17	6〔支援2〕	151	
48	9	380	21	18	5〔支援1〕	128	
49	9	339	20	19	5〔支援2〕	116	
50	9	324	19	20	3〔支援2〕	90	
51	8	278	18	21	3〔支援2〕	78	
52	7	237	16	22	3	75	
53	6	212	18				
54	6	193	17				

歴代校長

第1代	中野 定敏	昭和22. 5. 1	昭和26. 3. 25
第2代	蒲田 博	昭和26. 5. 1	昭和34. 4. 30
第3代	松井 平雄	昭和34. 5. 1	昭和39. 10. 31
第4代	茂野 実	昭和39. 11. 1	昭和41. 6. 20
第5代	東出 芳夫	昭和41. 7. 1	昭和43. 9. 30
第6代	桑田 賢一	昭和43. 10. 1	昭和46. 3. 31
第7代	鈴木 瑞郎	昭和46. 4. 1	昭和52. 3. 31
第8代	大串 博	昭和52. 4. 1	昭和55. 3. 31
第9代	石井 良晃	昭和55. 4. 1	昭和58. 3. 31
第10代	西田 光男	昭和58. 4. 1	昭和60. 3. 30
第11代	砂土居政司	昭和60. 4. 1	昭和63. 3. 31
第12代	森川 潤一	昭和63. 4. 1	平成 3. 3. 31
第13代	中野 尚幸	平成 3. 4. 1	平成 6. 3. 31
第14代	土屋 義正	平成 6. 4. 1	平成 8. 3. 31
第15代	小見 洋基	平成 8. 4. 1	平成11. 3. 31
第16代	木城 孝	平成11. 4. 1	平成13. 3. 31
第17代	吉田 英孝	平成13. 4. 1	平成15. 3. 31
第18代	吉田 幸雄	平成15. 4. 1	平成18. 3. 31
第19代	石川 博司	平成18. 4. 1	平成21. 3. 31
第20代	吉永 洋	平成21. 4. 1	平成23. 3. 31



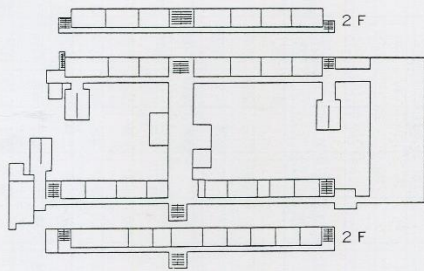
●校舎配置図

旧校舎(昭和31年当時)

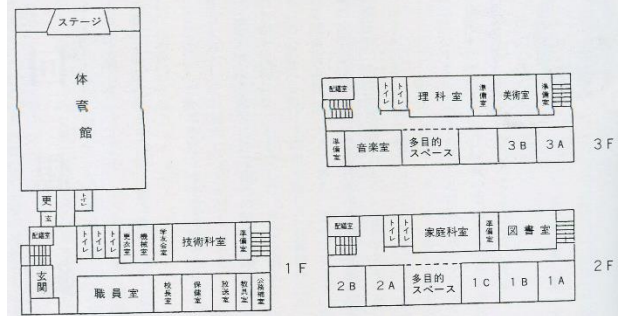


校舎の変遷

旧校舎(昭和36年当時)



新校舎(昭和62年4月)



学校沿革史

〔小学校〕

昭和10年 9月 5日	旧清住小学校の前身東北小学校と現在新幌内小学校所在地にあった奔別内小学校とが併合され、現在地に新校舎を新築して「三笠山中央尋常高等小学校」が開校された。初代校長井上森太郎氏のもとに、幾春別尋常高等小学校より1, 134名が転校してきた。 その後、当時の村長村田洋介氏は、昭和炭鉱（後新幌内鉱）及び東邦炭鉱〔旧弥生鉱〕の発展を裳階、新しく校舎新築を決定し、谷口竹一郎氏所有地4町9反あまりを買い上げ「光明が丘」と名付け、この地に開校した。校歌・校章を制定し、校章は雪の結晶を台に唐松・弥生・新幌内の3方面と、「強く」「明るく」「正しく」という校訓を称した物である。
昭和15年 4月 1日	弥生・新幌内に分校を設置。尋常科1, 2年生を収容した。
昭和16年 4月 1日	唐松分校〔3年生まで〕を新設。第2代校長滑川慎太郎氏。
昭和19年 4月 1日	第3代校長川上幸寿氏
6月 1日	黒川利吉氏の土地2反余り寄贈される。（校庭南東部）

（中学校）

昭和22年 5月 1日	新学制により「三笠町立唐松中学校」となる。 初代校長中野定敏氏着任
昭和22年 6月15日	開校式を挙行。 愛育会発足。
昭和22年12月 1日	三笠町立三笠中央中学校と校名を変更
昭和25年 9月20日	防火用水地を完成。プール開きを行う。
昭和26年 5月11日	第2代校長鎌田博氏着任
昭和27年 9月 1日	ピアノ購入
昭和28年 4月 1日	前清住小学校に校舎の一部を貸与
昭和29年 9月27日	台風15号のため、校舎の被害甚大であった。 ・校舎屋根、トタン全面的に風のため飛散 ・屋外使用便所倒壊 ・屋外グラウンド正面席倒壊
昭和31年10月 1日	新幌内鉱長の長居茂氏の寄贈により、鉄製の国旗掲揚塔を建設。
昭和32年 1月19日	後校舎階段 雪のため倒壊（午後3時40分頃）
昭和32年 4月 1日	市制試行により「三笠市立三笠中央中学校」となる。
昭和33年 7月25日	長居茂氏の寄贈により、鉄製のバックネットが完成。
昭和33年 9月27日	台風被害 ・校舎屋根トタン飛散 ・中校舎屋根破損

	・窓枠、ガラス破損
10月 4日	創立10周年記念式典を挙
昭和34年 5月 1日	第3代校長松井平雄氏着任
昭和35年 7月16日	火災（午前3時10分頃）により第2第3校舎と体育館を焼失
昭和36年 1月29日	屋内体育館・第2線校舎の落成祝賀会を行う。
8月 1日	弥生中学校が分離独立校となる。（15学級） 「愛育会」を「父母と教師の会」とする。
昭和38年 9月	校庭整備3カ年計画を完了。
昭和39年11月 1日	第4代校長茂野実氏着任。学友会誌第1号発刊。
昭和41年 6月20日	茂野実校長死去。学校葬を行う。
7月 1日	第5代校長東出芳夫氏着任
昭和42年 9月24日	創立30周年、開校20周年記念式典を挙
昭和43年10月 1日	第6代校長桑田賢一氏着任
昭和45年10月15日	中央玄関を改築
昭和46年 3月10日	校旗・ステージ幕を新調（校下の寄付）
昭和46年 4月 1日	第7代校長鈴木瑞郎氏着任
8月16日	全国中学校サッカー大会に、北海道代表として出場。
昭和47年 4月	校内テレビ放送施設完了。 サッカー・女子バスケット・バレーボール全道大会出場。
昭和48年 2月	カラーTV1台備え付け〔ビクター20型〕
6月	VTR 施設拡充
昭和49年10月24日	体育館器具室を消失。バレーボール・サッカー全道大会出場
昭和52年 4月 1日	第8代校長 大串 博氏 着任
昭和52年 9月25日	創立40周年、開校30周年記念式典を挙
昭和53年11月	三笠市教育研究指定校研究発表
昭和55年 4月 1日	第9代校長 石井 良晃氏 着任
昭和56年 7月16日	中庭花壇造成
昭和58年 4月 1日	第10代校長 西田 光男氏 着任。
昭和58年 5月 2日	第3学年卒業記念植樹（白樺）
昭和58年 5月 8日	PTA/PTA OB会植樹
昭和58年 6月	校章・校名を正面玄関に設置
昭和58年 9月	前庭花壇の造成。縁石ブロック積み。
昭和59年 5月15日	第3学年卒業記念植樹（白樺）
昭和59年 6月 1日	PTA 植樹（白樺）
昭和59年 7月 9日	西田 光男校長より校名旗寄贈
昭和60年 4月 1日	第11代校長 長砂土居 政司氏 着任
昭和60年 5月21日	第3学年卒業記念植樹（白樺）PTA 植樹（白樺・八重桜）

昭和62年 3月29日	新校舎移転
昭和62年 4月 1日	新校舎 美園小卒業生1年入学
昭和62年11月 1日	創立50周年、開校40周年、新校舎落成記念式典挙行
昭和63年 3月24日	砂土居政司校長よりゼッケン寄贈
昭和63年 4月 1日	第12代校長 森川 潤一氏 着任。
平成 元年 2月 8日	三教研指定研究発表
平成 元年 8月	テニス部全道大会出場
平成 元年 9月29日	北炭幌内炭坑閉山。川上武文氏より深部塊炭の置物寄贈
平成 2年10月18日	全道ボランティア研究大会開催
平成 3年 4月 1日	第13代校長 中野 尚幸氏 着任。
平成 5年 4月 1日	鮭飼育開始
平成 6年 3月 7日	視聴覚室コンピュータ13台設置。図書室を向かい側に移転。
平成 6年 4月 1日	第14代校長 土屋 義正氏 着任。
平成 8年 4月 1日	第15代校長 小見 洋基氏 着任。
平成 8年12月 25日～28日	全道中学校バスケットボール新人戦大会出場（旭川）
平成 9年10月19日	創立60・開校50周年記念式典挙行。
平成 9年11月21日	三教研指定校中間発表
平成 9年12月26日	全道中学校バスケットボール新人戦大会出場（旭川）
平成10年 7月 8/9 日	全道中学校バスケットボール新人戦大会優勝（深川）
平成10年 8月 7/8/9 日	全道中学校バスケットボール新人戦大会出場（旭川）
平成10年 8月27日	北海道教育実践研究成果に応募。館内教育実践として道通に全文掲載。
平成10年11月20日	三教研指定校本発表
平成10年12月 25/26 日	全道中学校バスケットボール新人戦大会出場（北見）
平成11年 4月 1日	第16代校長 木城 孝氏 着任。
平成11年12月 25～28日	全道中学校バスケットボール新人戦大会出場（帯広）
平成12年12月 25～28日	全道中学校バスケットボール新人戦大会出場（旭川）
平成13年 1月15日	パーソナルコンピュータ新規設置（視聴覚室・職員室）
平成13年 4月 1日	第17代校長 吉田 英孝氏 着任。
平成13年 7月27日	中体連全道陸上大会「走り高跳び」2名出場（函館）
平成13年11月16日	公開研究大会開催。
平成13年12月	全道中学校バスケットボール新人戦北大会出場（釧路）

26～28日	
平成14年 1月 18～20日	中体連全道スキー大会「GSL,SL」1名出場（ニセコ）
平成14年 8月 3日	空知地区吹奏楽コンクール C編成 金賞
平成14年12月 26～28日	全道中学校バスケットボール新人戦北大会出場（帯広）
平成15年 1月 17～19日	中体連全道スキー大会「GSL」1名出場（富良野）
平成15年 4月 1日	第18代校長 吉田 幸雄氏 着任
平成15年 7月25日	中体連全道水泳大会 1名出場（帯広）
平成15年 8月 2日	中体連全道剣道大会 1名出場（羽幌）
平成16年 2月 2日	中体連全国スキー大会 1名出場（新潟県）